

お知らせ

平成 22 年 5 月 31 日

同時資料提供先

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、
岡山県政記者会、広島県政記者クラブ、山口県政記者クラブ、
山口県政記者会、山口県政滝町クラブ、中国地方建設記者クラブ

水生生物調査に延べ 1,367 名参加！ 良好な水質状況を維持

～中国地方整備局 平成 21 年度 水生生物調査の実施結果について～

<水生生物調査とは？>

川底にどのような生物が住んでいるかを調べることで、その地点の比較的長い期間の水質の状態を簡易的に判定する、住民参加型の調査です。誰にでも簡単に水質状況が判定できるので、昭和 59 年から小・中学生、高校生を中心に、多くの方々に参加していただいています。

水生生物調査は、河川と親しみながら調査をすることで、身近な存在である河川に対して、河川愛護、水質浄化等の関心を高めてもらうことを目的として実施しています。

<平成 21 年度実施状況>

中国地方の一級水系の 90 地点において、6 月から 11 月にかけて小・中学生、高校生を中心に 55 団体、延べ 1,367 名の参加を得て実施しました。

<平成 21 年度調査結果>

水質を [I] きれいな水～ [IV] 大変きたない水の 4 つの階級に分けて取りまとめた結果、[I] きれいな水および [II] 少しきたない水と評価された地点が全体の 98% (平成 20 年度：98%) となり、概ね良好な結果となりました。

国土交通省 中国地方整備局

○問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局

電話番号 (082) 221-9231 (代表)

(担当) 河川部 流域水防調整官 つちえ 土江 せいじ 清司 (内線 3518)

(担当) 河川部 建設専門官 つねやす 常保 まさひろ 雅博 (内線 3758)

(広報担当窓口) 総務部 広報広聴対策官 やすだ 安田 ひろのぶ 博信 (内線 2117)

企画部 環境調整官 あきやま 秋山 りょうそう 良壮 (内線 3114)

※全国水生生物調査に参加を希望される場合のお問い合わせ先

平成 22 年度も市民の方々の参加を得て全国水生生物調査を実施します。調査への参加を希望される方は以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。

- ・ 各都道府県の環境部局 (<http://www.env.go.jp/kids/water.html>)
- ・ 各地方整備局等の窓口（一級河川直轄管理区間）
(http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyousuisitu/toiawase.html)

平成21年度

水生生物による水質の簡易調査の実施結果

中国地方整備局

調査風景－1

千代川水系 千代川 ^{もちがせ} 用瀬地点 (鳥取県)



天神川水系 国府川 ^{たかぎみずべのがっこう} 高城水辺の楽校 (鳥取県)



日野川水系 日野川 ^{ほうきばし} 伯耆橋地点 (鳥取県)



斐伊川系 神戸川 ^{まきおおはし} 馬木大橋地点 (島根県)



高津川水系 高津川 ^{むそう} 虫追地点 (島根県)



江の川水系 西城川 ^{てらどしんすいこうえん} 寺戸親水公園地点 (広島県)



吉井川水系 金剛川 ^{みやばし} 宮橋地点 (岡山県)



旭川水系 旭川 ^{しんおおはらばし} 新大原橋地点 (岡山県)



芦田川水系 芦田川 ^{ふちゆうしんばし} 府中新橋地点 (広島県)



太田川水系 太田川 ^{しんとどろきばし} 新轟橋地点 (広島県)



小瀬川水系 小瀬川 ^{りょうごくばし} 両国橋地点 (広島県)



1. 調査の目的

河川の中にはさまざまな生物が生息していますが、特に川底に生息する生物（水生生物）は、過去から調査時点までの長時間の水質状況を反映した結果でもあります。

したがってどのような生物が生息しているかを調べることによって、その地点の比較的長い期間の水質の状態を知ることができます。

国土交通省と環境省では、それぞれ昭和59年から「水生生物による水質の簡易調査」（以下「水生生物調査」という）をはじめています。

水生生物調査は、誰にでも簡単に水質状況が判定できるので、小・中学生、高校生を中心に、多くの方々に参加していただき、河川と親しみながら、河川の水質状況を把握し、水質保全施策の基礎資料を得るとともに、調査を通じて私達の身近な存在である河川に対して、河川愛護、水質浄化等の関心を高めてもらうことを目的として実施しています。

2. 参加者数と調査地点数

小・中学生を中心に、55団体、延べ1,367名の参加を得て、中国地方一級水系90地点で実施。

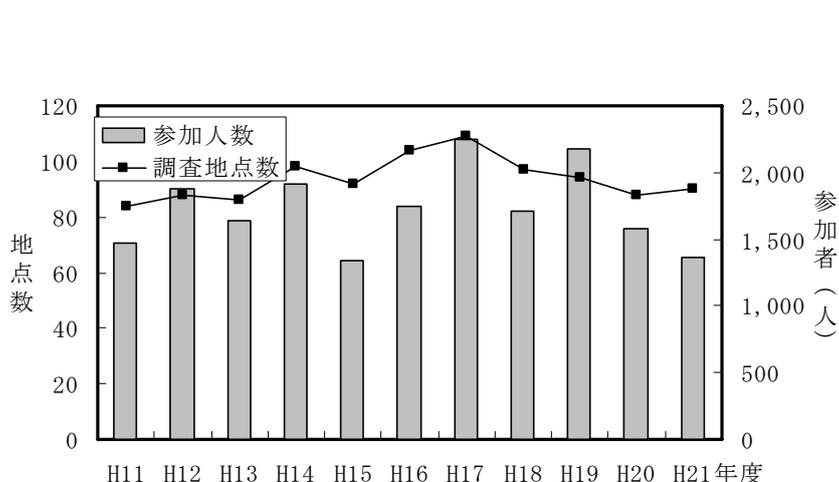


図-1 参加者数と調査地点数

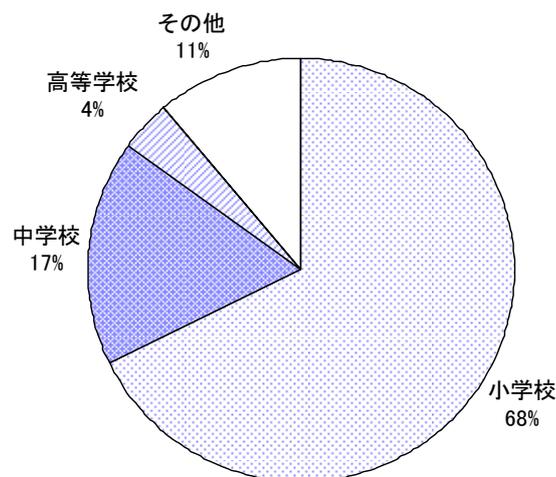


図-2 平成21年度 調査参加団体構成比

平成21年度の調査は、中国地方の一級河川の90地点において、6月から10月にかけて、55団体、延1,367人の参加を得て実施しました（P.7 表-2参照）。

平成20年度に比べ参加人数は少なくなっていますが、今回も多くの子供達に調査をしていただいたことで大変貴重なデータを得ることができました。

子供達にとっても、水に親しみながら調査をしたことで”きれいな川”に対するより具体的なイメージを持って頂く機会となったと思います。

3. 調査の方法

この調査は、国土交通省河川局編「川の生きものを調べよう～水生生物による水質判定～」を基に、川底に生息する水生生物を採取し、表－1に示す『水のきれいさ』の指標となっている生物の種類数と個体数により、川の水質状況を判定するものです。

表－1 水のきれいさの程度（階級）とその指標となる生物

I：きれいな水の生物		II：少しきたない水の生物	
カワゲラ	ヘビトンボ	コガタシマトビケラ	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ	ブユ	オオシマトビケラ	スジエビ
ナガレトビケラ	アミカ	ヒラタドROMシ	○ヤマトシジミ
ヤマトビケラ	サワガニ	ゲンジボタル	○イシマキガイ
	ウズムシ		カワニナ
III：きたない水の生物		IV：大変きたない水の生物	
ミズカマキリ	○ニホンドロソコエビ	セスジユスリカ	サカマキガイ
タイコウチ	タニシ	チョウバエ	エラミミズ
ミズムシ	ヒル	アメリカザリガニ	
○イソコツブムシ			

注) ○は、海水の少し混ざっている汽水域の生物

・判定方法

水質階級の判定方法は、調査地点毎に出現した個体数の多かった指標生物2種類（ただし、3種類の指標生物についてほぼ同じ個体数であった場合は、最大3種類）については2点、それ以外の指標生物については1点として点数をつける。

- ・各階級ごとに各指標生物の点数を合計する。
- ・点数のもっとも高い階級をその地点の水質階級と判定する。
- ・ただし、複数の階級について同点がある場合には、水質の良い階級をその地点の階級とする。例えば、階級Iと階級IIが同点の場合は階級Iとする。

4. 調査結果概要

水質階級 [I]、[II] と判定された地点が全体の 98%

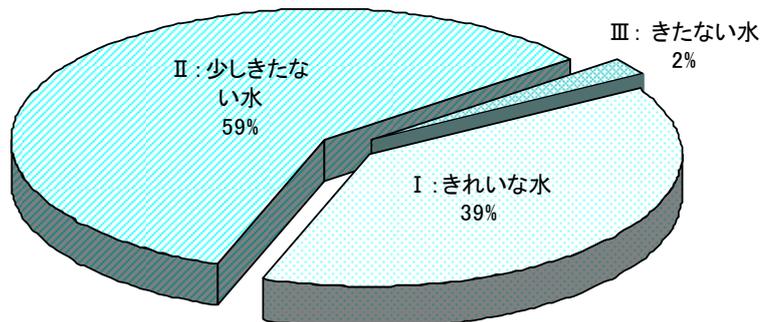


図-3 平成21年度 水質階級構成比

水生生物からみた中国地方一級河川の水質状況は、一級水系調査地点90地点のうち、「I : きれいな水」が35地点、「II : 少しきたない水」が53地点、「III : きたない水」が2地点、「IV : 大変きたない水」が0地点となりました。この結果、[I]、[II]と判定された地点が全体の98%（平成20年度：98%）になり、中国地方の一級河川は良好な状態を保っています。

平成20年度と比較すると水質階級が上がった地点数は、6地点（[II] → [I] : 5地点、[III] → [II] : 1地点）ありました。また、水質階級が下がった地点数は8地点（[I] → [II] : 7地点、[II] → [III] : 1地点）でした。

中国地方一級河川の良好な状態を保つため、今後も生活排水などの川の水質に影響を及ぼすものに対する一人一人の心掛けが必要です。

中国地方の一級河川の水質は、良好な状態を維持

図-4は、過去10年間の判定水質階級比率の推移を表したものですが、平成21年度は階級 I と II を合わせた比率は98%であり、中国地方の一級水系は、継続的に良好な水質を保っていると言えます。

（I : きれいな水、II : 少しきたない水、III : きたない水、IV : 大変きたない水）

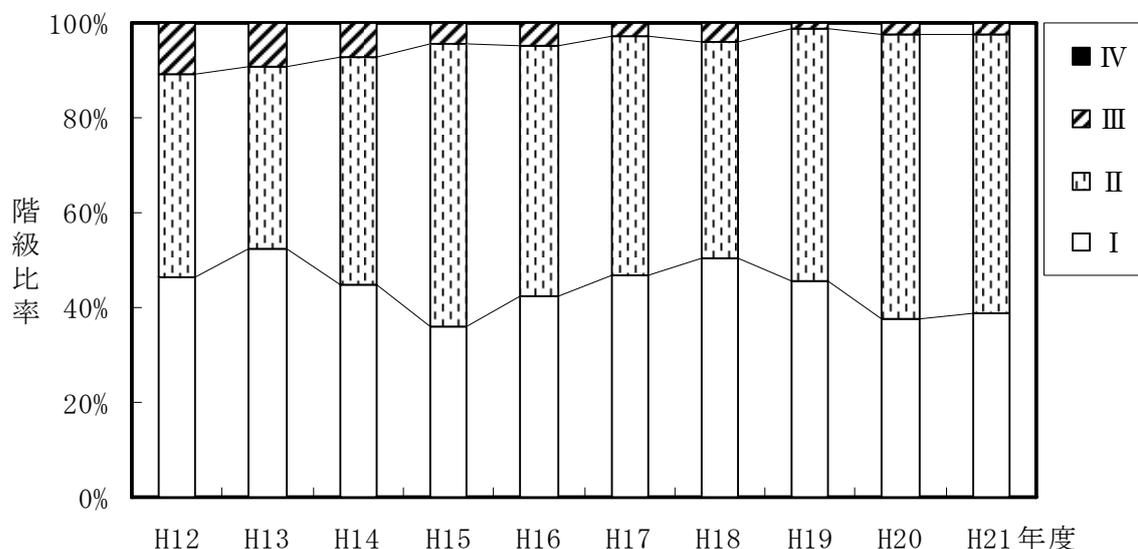


図-4 判定水質階級比率の推移

5. 河川別参加者、参加団体等集計

表－２ 水生生物による水質の簡易調査「平成21年度実施結果」

(水質階級 I：きれいな水 II：少しきたない水 III：きたない水 IV：大変きたない水)								
県名	水系名	調査地点数 (地点)	参加人数 (人)	参加団体数 (団体)	判定水質階級 (地点)			
					I	II	III	IV
鳥取県	千代川	8	203	5	6	2		
	天神川	7	33	4	4	2	1	
	日野川	5	30	3	1	4		
島根県	斐伊川	14	420	13	10	4		
	江の川下流	5	37	2		5		
	高津川	3	11	1	3			
岡山県	吉井川	5	12	0		5		
	旭川	2	14	1		2		
	高梁川	4	0	1		4		
広島県	江の川上流	13	402	13	1	12		
	太田川	14	147	7	7	7		
	芦田川	7	20	2		6	1	
広島県・山口県	小瀬川	3	38	3	3			
山口県※	佐波川	-	-	-	-	-	-	-
合計		90	1,367	55	35	53	2	0
					39%	59%	2%	0%
前年 (平成20年)		88	1,577	69	33	53	2	0
					38%	60%	2%	0%

【参加団体内訳】

小学校	32団体	934人
中学校	14団体	233人
高等学校	3団体	48人
その他	6団体	152人

※集中豪雨災害があったため、H21年度の調査は実施していない。